

東員町議会

教育民生常任委員会委員長 川瀬 孝代 様

教育民生常任委員 三宅 耕三

研修報告書〔教育民生常任委員会〕

研修期間	令和 5年 7 月 12 日(水) ～ 7 月 13 日(木)【2日間】
研修(視察)先	1、徳島県勝浦郡上勝町役場 2、徳島県庁
目的(テーマ等)	1、上勝町 日本で初めて(2003年)ゼロ・ウェイスト(無駄・ごみ・浪費をなくすという意味)宣言した町の視察 2、徳島県庁 アプリ(テクとく)で、個人の健康づくりの取り組みでポイントが貯まる仕組みで市民の健康への意識向上変化を視察。
参加議員名 (複数の場合)	◎川瀬孝代 ○三林 浩 ・三宅耕三 ・島田正彦 ・伊藤治雄 ・広田久男 ・中村 等
資料添付の有無	有 ・ (無)

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

上勝町の人口は約 1400 人、行政面積は約 110km²。研修の冒頭に、上勝町を代表して「花本 靖 町長」から、歓迎の言葉と共に、これまでの経緯の説明がありました。ゴミ対策には、廃棄物の適切な処理とリサイクルに重点を置いた環境保護活動というこの取り組みの背景があります。上勝町は自然豊かな地域であり、地域の自然環境への配慮をしつつ美しい景観や生態系の保護が求められていことから、持続可能な社会の実現に向けた廃棄物の適切な処理は、地域の健康と豊かさを支えるために不可欠です。ゴミ分別とリサイクルの取り組みでは、ゴミの分別とリサイクルの取り組みが積極的に行われています。具体的な取り組みとしては、「家庭からのリサイクル可能なゴミや資源ごみの分別収集」・「リサイクル施設における再利用やリサイクル処理の実施」・「分別ルールと収集日程の啓発活動の実施」があります。

廃棄物削減への取り組みでは、廃棄物の削減にも力を入れていました。具体的な取り組みとしては・「リサイクルの重要性や資源の有効活用方法に関する啓発活動」・「不要な物のリユースやリサイクルの促進」・「大型ごみの回収サービスの提供」があります。

住民参加型の取り組みでは、住民の参加を促す取り組み（イベント）も実施。具体的な取り組みとしては「ゴミ拾いイベントやリサイクル活動への参加の呼びかけ」・「地域の人々がゴミ問題に関心を持ち、積極的に取り組めるような環境づくりの推進」が挙げられます。

所管：徳島県上勝町は、環境保護と持続可能な廃棄物管理に向けたゴミ対策に積極的に取り組んでいます。ゴミの分別やリサイクルの促進、廃棄物削減の取り組み、そして住民参加型の活動などが行われており、地域の健全な発展と環境保護の実現に寄与しています。今後も上勝町は、持続可能な廃棄物管理に向けた取り組みを継続し、地域社会の豊かさと環境の保全を目指していくことが期待されます。東員町では、1 市 2 町で広域清掃事業組合を構成していて足並みを揃えることは難しいとは思っても、仮に 1 町でも地域のリーダーという気概を持って臨めば、これまでとは違った取り組みができるようになると思われます。研修費用 1 人 3500 円が高いか安いかは、これからの取り組み次第によることでしょう

以上

2日目は、「テクとく」というアプリによる市民の健康への意識向上変化について視察しました。このアプリは個人の健康づくりの取り組みを支援し、ポイントを貯めることができる仕組みを導入しています。視察の目的は、アプリの導入が市民の健康意識にどのような影響をもたらしているかを調査することです。

アプリの「テクとく」は、個人の健康づくりを促進するためのスマートフォンアプリで、利用者は、日常生活での健康的な取り組みをアプリ上に入力することでポイントを獲得します。ポイントは、健康に関する情報へのアクセスや特典として利用できます。アプリは、ウォーキングやジョギング、食事内容の入力、睡眠時間の記録など、さまざまな健康活動をサポートしています。

1. 健康への意識向上を目指す上でアプリの導入により、参加者の健康への意識が高まったという明確な傾向が見られました。ポイントの獲得を目指すことで、日常的な健康行動に積極的に取り組む姿勢が増加しました。特に、ウォーキングや運動の頻度が増えたことが報告されています。健康への関心が高まるとともに、参加者が自分自身の健康状態に対してより意識的になったようです。

2. 「テクとく」アプリは、参加者同士がコミュニケーションを取る機会を提供しています。ユーザーは、アクティビティの共有やアドバイス交換を通じて、お互いに刺激を受けることができ、このコミュニティの形成により、参加者はより長期的な健康づくりの取り組みを続けることができると報告されています。

3. インセンティブ効果としてのポイント制度は、ユーザーのモチベーション向上に効果的であることが観察されました。ポイントを獲得することで、ユーザーは健康に関連する報酬や特典を得ることができます。このインセンティブ効果により、参加者は継続的に健康行動に取り組む意欲が高まっているようです。

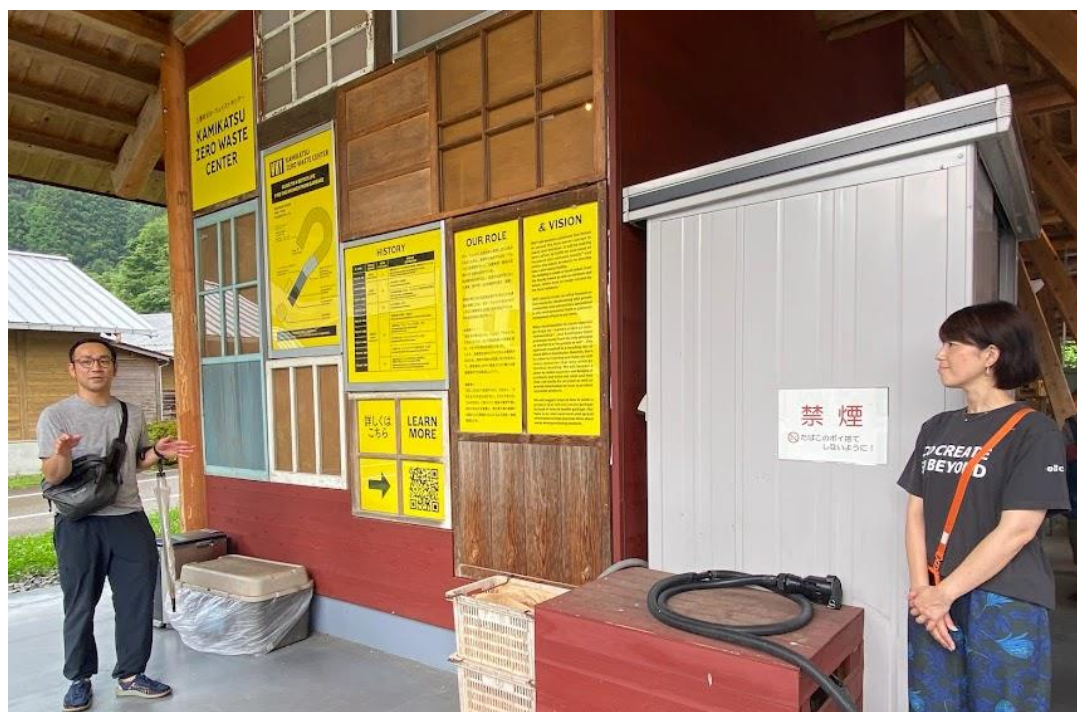
結論として「テクとく」アプリは、個人の健康づくりの取り組みを支援し、ポイント制度を導入することで市民の健康意識向上に寄与しています。アプリの導入により、参加者は健康への関心が高まり、日常的な健康行動に積極的に取り組む姿勢が増えました。また、コミュニティの形成やインセンティブ効果も、参加者が長期的な健康づくりの取り組みを継続する上で重要な要素となっています。

「テクとく」アプリのような取り組みは、健康への意識向上や行動変容を促進する有効な手段と言えるでしょう。今後もこのようなアプリの普及や改良が進むことで、市民の健康づくりに一層の貢献が期待されます。東員町でも、徳島県の取り組みで良いところは取り入れ、町民の健康に寄与することが期待されます。

以上



上勝町の花木靖町長から歓迎を受ける教育民生常任委員会委員



ゼロウエストセンターでの説明は愛知県蟹江から移住した若夫婦